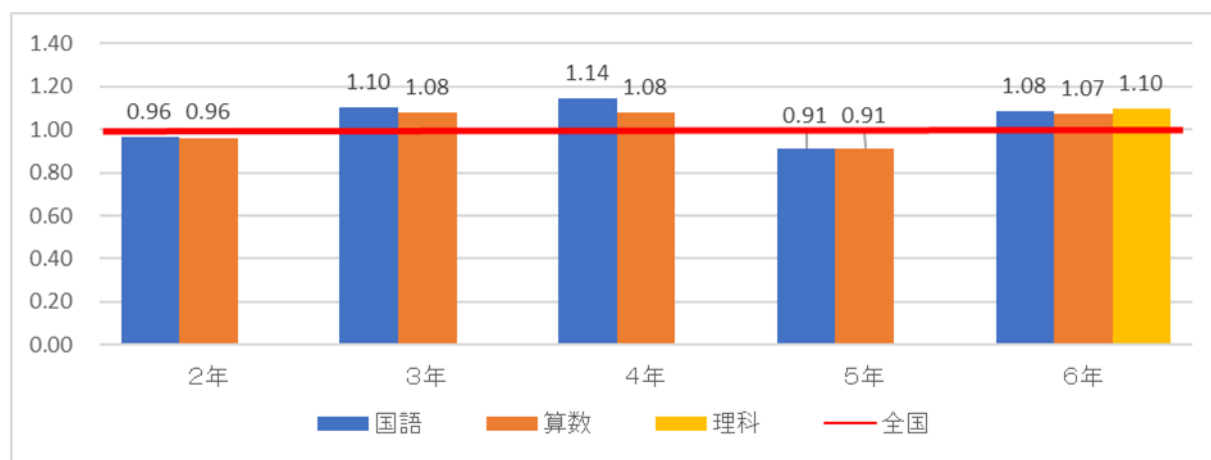


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第十中学校区 三井小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習 到達度調査	国語	「書くこと」について全ての学年が全国平均を大きく上回る結果であった。今後も「考えたこと」を表現し、まとめる活動の充実を図る。
	算数	「データの活用」領域について全ての学年が全国平均を上回る結果であった。今後も、情報を集め、まとめ、分析し活用するといったことを調べ学習や普段の生活に取り入れ体験させていく。
全国学力・ 学習状況調査	国語	「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする」設問において、全国値を大きく上回る結果となった。今後も、自分の考えを伝えるために、書き表し方を工夫したり考えたりする活動を充実させていく。
	算数	「図形の面積の求め方」の設問において、全国値を大きく上回る結果となった。求めたい面積を工夫して基本図形に分解したり、式や言葉を用いて記述したりできる力を今後もさらに伸ばしていく。
	理科	「問題に対するまとめを導きだす」設問において、全国値を大きく上回る結果となった。今後も問題を解決するための観察や実験の方法が適切であるかを検討し考察を的確に表現できる力を育成していく。
	質問紙	「友達関係に満足している」「人の役に立ちたい」「将来の夢や目標を持っていますか」の設問において特に肯定的回答が多かった。PBIS（ポジティブ行動支援）、道徳教育、ディベート、教科授業すべてにおいて人権意識を育み健やかに生きる力を育む集団づくりに引き続き取り組んでいく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

校区研修や授業交流と共に小中一貫教科部会において、学力調査の結果分析を共有し、児童生徒の主体的な学びを実現する授業づくりを推進している。学びの土台となるべく、PBIS（ポジティブ行動支援）、ディベート教育や道徳教育に注力し、論理的思考力、心の豊かさ等をはじめとする非認知能力の育成を図り、確かな学力を身に付けた子どもの育成をめざしている。

【 学 校 】

主体的な学びから「考える力」を育成するため日々の充実した授業（キーワードに注目し、長い文章を読む。聞く力をつける活動。要約、文章・式・図で表現する。計算練習、身近なものから単位をイメージ化、図形の性質をおさえる）をめざす。また、総合的な学習の時間『探究的活動わくわくプロジェクト』ではディベート活動を盛り込み児童の興味に沿った質の高い討論及び探究的な学びをすすめ、非認知能力育成を含めた包括的な学びを確かな学力につなげていく。